

# R6コンクリート講座

大学教授や専門技術者らが  
わかりやすく解説します

## 開催日程と内容

第1回 開催済み	関連規準類の改定内容	講師：大谷俊浩 (大分大学 教授) 2024年 4月30日(火) 16:00-17:30
第2回 開催済み	劣化診断 その1 (大分県内の実構造物における劣化事例・原因調査方法・対策例)	講師：見平成宏 (株インフラネット) 2024年 5月16日(木) 16:00-17:30
第3回 開催済み	劣化診断 その2 (分析・品質調査)	講師：江渕充信 (株麻生) 2024年 6月11日(火) 16:00-17:30
第4回 開催済み	対策と補修・補強設計例	講師：児玉明裕 (株サザンテック) 2024年 7月11日(木) 16:00-17:30
第5回	セメントと混和材料、フレッシュコンクリートの性質、施工	講師：近田孝夫 (株麻生) 2024年 8月19日(月) 16:00-17:30
第6回	コンクリートの製造・品質管理、硬化コンクリートの性質	講師：近田孝夫 (株麻生) 2024年 9月10日(火) 16:00-17:30
第7回	プレキャスト製品、プレストレストコンクリート	講師：佐藤正敏 (川田建設(株)) 2024年 10月 4日(金) 16:00-17:30
第8回	コンクリートの耐久性 その1	講師：山本大介 (大分高専 准教授) 2024年 10月16日(水) 16:00-17:30
第9回	コンクリートの耐久性 その2	講師：秋吉善忠 (大分大学 助教) 2024年 11月12日(火) 16:00-17:30

近年、自然災害が多発し、その被害も甚大化しています。今後、南海トラフ地震による津波被害も想定され、これら自然災害への対策が喫緊の課題となっています。大分県でも国土強靱化計画を策定し、その対策を推し進めています。その実現のためには、土木・建築構造物の整備が特に重要な要素であると言えます。特にコンクリート構造物においては、その劣化状態の把握と将来における劣化進行予測を行い、最適な補修・補強方法を選定する適切な維持管理が求められます。

コンクリート構造物の建設、劣化診断や維持管理に関する技術の進歩は目覚ましく、技術者にはそのような最新技術に関する情報を得て、常にレベルアップを図ることが求められています。本講座では、コンクリートに関連する規準類の改定内容、基礎物性、耐久性や劣化診断、補修技術について最新の情報も取り入れながら解説します。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

一般社団法人おおいた産学構造物研究会 代表理事 大谷俊浩

- 会場：ホルトホール大分 セミナールームL<sup>\*</sup> (Zoomによるオンライン参加も可能)
- 参加費：一般 1,000円/回 (おおいた産学構造物研究会 会員は5名まで無料)
- 定員：対面 50名/各講座 (オンライン 50名/各講座)  
(申込先着順で定員になり次第締め切らせていただきます)
- 申込方法：申込フォーム (<https://forms.gle/41MvrTUcbcgqArS9>) にアクセスいただき必要事項をご入力ください。  
右記のQRコードからもお申込みいただけます。  
※予約の関係で会場が変更になる可能性があります。



# R6コンクリート講座

## 参加費について

参加費は、対面形式でご参加の場合は当日会場の受付にてお支払いください。

オンライン(Zoom)参加の場合は、参加日の1週間前までに下記口座に参加費をお振込みください。

なお、ご入金後のご返金はいたしかねますので予めご了承ください。

口座名：一般社団法人おおいた産学構造物研究会

振込先：大分銀行 しきど支店 普通 7821860

振込み手数料：参加者にてご負担いただけますようお願いいたします。

## CPDSについて

本講座の第1回～第4回についてはCPDS（継続学習制度）の学習プログラムに認定されています。

第5回～第7回は現在申請中です。第8回目以降も順次申請予定です。

最新の情報については当会HPをご確認ください。

今年度からオンライン受講（Zoom参加）についてもCPDSの対象となります。

なお、オンライン受講でCPDSを取得する際の注意点につきましてCPDSガイドラインをご確認ください。  
<https://www.ejcm.or.jp/about-cpds/>

## お問合せ

一般社団法人おおいた産学構造物研究会（mail: [bunkouken2019@gmail.com](mailto:bunkouken2019@gmail.com)）

〒870-0942 大分県大分市羽田193-1

HP <https://www.oita-air.com>

最新情報については  
ホームページをご覧ください

## コンクリートの劣化事例

